

外国語活動指導略案

姫路市立八幡小学校主幹教諭 岡本真砂夫

1. 日時 平成29年6月28日 (水)
2. 単元 Can you swim? (Hi, friends! 2 Lesson 3)
3. 趣旨

“Can you swim?”は“Hi, friends! 2” Lesson 3の教材である。“Hi, friends!”テキストでは“Can you play baseball?”等の動作動詞の「可能」について尋ねる疑問文、“I can swim.”等の肯定文、“I can’t play soccer.”の否定文等が扱われている。児童にとって身近な題材であるが、“Hi, friends!”で取り上げられている題材は本来、副詞“well”を文末に加えるべき表現で、“Can you swim well?”の副詞“well”が、児童の発達段階に合わせ削除されていると考えられる。一見対話がしやすいようだが、これは曖昧な表現になってしまっているといえる。この曖昧さは、多義という意味 (ambiguous)ではなく、意味が漠然としている (vague)表現であり、混乱の元になっていると考えられる。例えば、児童は“Can you play baseball?”と尋ねられても、「少年野球のレギュラー選手レベル」を尋ねられているのか、「ギリギリキャッチボールができるレベル」を尋ねられているのかが不明で、“Yes”と答えて良いのか、“No”と答えるべきなのか迷うようである。同じ「可能」(ability)を尋ねる表現なら、できる、できないが明らかになっている文脈で尋ねるべきである。そこで、本時では「飛べる」「泳げる」「歩ける」等の、動作動詞から動物名を当てる活動を取り入れた。カード交換ゲームにおいては、持っているカードの動物になりきることで、「できる」「できない」が明らかな活動に取り組みせることとする。なお、平成30年度から使用される外国語科5年生新教材のLesson 5では、“Can you sing well?”のように副詞“well”を加えた表現が取り入れられることになり、曖昧さは取り除かれるようである。

また、“Can”には、“Can you help me?”等の「依頼」(Request)の意味がある。“Can you pass me the salt?”は、「塩を渡してもらうことは可能か」と尋ねているのではなく、「塩を取ってください」と依頼している表現である。児童には様々な文脈の“can”に接させたい。そこで、本時では「写真を撮ってもらえますか」という意味の、“Can you take a picture?”も取り入れることとした。なお、“could”や“would”はより丁寧に依頼する文脈で用いられる表現であり、児童は“Hi, friends! 1” Lesson 9 “What would you like?”で接している。今後、より丁寧な依頼表現として“could you”“would you”に発展できると考えられる。また、“Can”は、“Can you play baseball (today)?”のように「誘い」(invitation)の表現でもある。“Can you play today?”等、友達を誘う際の対話文にも発展できると考えられる。

4. 展開

学習活動

1. Greeting “How are you?”と、挨拶の練習をする。
2. “Color”のフラッシュカード、カラータッチゲーム
参照 <http://tanbo.main.jp/game/mogura7.swf>
3. 動作のフラッシュカード 実際に動作を行う。
4. Symon says game.
“I can ~.”で動作に慣れる。
5. 動画を視聴する。 *Can & Can't // Action Verbs pt.7/11: Fun English grammar caroon "WHAT CAN YOU DO?"*
参照 <https://www.youtube.com/watch?v=a91oTyA0Oq8&feature=youtu.be>
5. カード交換ゲーム
“Can you swim?” “What color?”
6. 写真撮影を依頼する活動に取り組む。
参照 “Can you take a picture?” <http://tanbo.main.jp/2007friendship/27.html>
7. iPadアプリの「写真を合成」を活用する。